

■津軽海峡文化館アルサス

佐井村の観光・文化・商業の拠点となっている津軽海峡文化館アルサス。村の文化を伝えるミュージアムやイベントが多く催されるしおさいホール、お土産や飲食店などの商業施設も入居しております。



■旧三上家住宅(三上剛太郎生家)

赤十字の心に生きた佐井村出身の医師、三上剛太郎。1905年日露戦争で軍医として従事し、仮包帯所に「手縫いの赤十字旗」を掲げて、敵味方なく多くの負傷兵の命を救いました。

その後も佐井村の医師として尽力した剛太郎の生家を保存、公開しております。

館内にはレントゲンをはじめとする医療器具が展示され、地域医療に貢献した三上家の偉績がうかがえます。



■箭根森八幡宮

「箭根森八幡宮」の祭礼は、遠く元禄9年(1696年)に始まり、村民の生活の平安に思いを込めながら、その歴史を今に伝えています。

祭典は老いも若きも一緒になって、9月14日から16日まで昼夜3日間にわたって盛大に行われ、由緒ある神楽、御輿、山車の長い行列が祭囃子を秋風に乘せて、絢爛と町中を練り歩きます。



■森林体験館(フォレストパーク)

フォレストパーク内には、ヒバ材を生かした総ヒバづくりの森林体験館、炭焼きハウス、広々としたコートで思う存分プレイできるテニスコートとゲートボール場がございます。

森林体験館では、森林に関する様々なことが学べる展示室や木工体験教室など、様々な楽しいイベントが開催されます。



■仏ヶ浦

およそ2kmにわたって奇岩が続く仏ヶ浦。見渡す限り白緑色の凝灰岩が長年の風雨と荒波に削り取られながら、凄まじく屹然と立ちつくしています。奇岩の群れのコントラストはとて美しく、まるで極楽への次口のように。

大自然から生まれた造形美はとて神秘的で大きく、そして力強く言葉に表せない感動が心に残ることでしょう。

心をほどく絶景がここに。
佐井村観光スポットをぜひご案内



■願掛公園(ケビンハウス)

佐井本村から海岸線に沿って西南へ2.8km、矢越岬の先端に2つの巨大な岩塊が見えます。この岩が願掛岩と呼ばれ、その周辺が願掛公園として整備されています。

願掛岩から道路を挟んだ山側には総ヒバづくりのコテージが5棟建てられており、さわやかなひばの香りに包まれながらキャンプを楽しむことができます。

家族や親しい仲間たちと忘れられない思い出を作りにいかがでしょうか。